

偏西風

林

恭子

はるか はるか 昔から

やつて來た 西から

文化は

島国に 根を下ろした文化は

種々様々

受け身でいるよりはと

偏西風に抗いながら

荒波にも負けじと

大海原を渡つた 大陸へ

まだまだ その西に

文化は存在した

仏教文化のその向こうに

ペルシヤ・エジプト

選択をした

選択できた

数千年を経て 濾過され

手を加えた文化を 享受している

島国の人々は豊かになつた 精神が

起床したら

声が出ない

受話器を取つたら 蛮声が出た

そんな筈は

偏西風が蛇行して

喉に 黄砂を 齋したのか

声帯に異常なし

鼻声は 止まず

鼻嗽いに感かまける

偏西風に抗おうにも

悪さを纏まとつた 黄砂には

勝てず

偏西風は

ミサイルの欠片かけらを

運ぶだけ

豊かな文化は